

研修カリキュラム表(生活援助従事者研修課程)

事業者名:(公財)介護労働安定センター三重支部

※実施内容については、要綱別紙2「介護員養成研修における目標、評価の指針」(生活援助従事者研修課程)を網羅すること。

研修カリキュラム(要綱別紙1)		実施計画					
講義・演習(実習)		カリキュラム名・時間数				実施内容	
1	職務の理解 2時間	1	職務の理解	時間数	うち通学	うち通信	1 職務の理解
	(1)多様なサービスの理解	1	(1) 多様なサービスの理解	1	1	/	(1) ・多様なサービスの理解
	(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	1	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	1	1	/	(2) ・介護職の仕事内容や働く現場の理解
2	介護における尊厳の保持・自立支援 6時間	2	介護における尊厳の保持・自立支援	時間数	うち通学	うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援
	(1)人権と尊厳を支える介護	3	(1) 人権と尊厳を支える介護	3	3		・人権と尊厳の保持 ・ICF ・QOL ・ノーマライゼーション ・虐待防止、身体拘束禁止 ・個人の権利を守る制度の概要
	(2)自立に向けた介護	3	(2) 自立に向けた介護	3	3		(2) ・自立支援 ・介護予防
3	介護の基本 4時間	3	介護の基本	時間数	うち通学	うち通信	3 介護の基本
	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	1	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1	1		(1) ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護に関する職種
	(2)介護職の職業倫理	1	(2) 介護職の職業倫理	1	1		(2) ・職業倫理
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	1	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1	1		(3) ・介護における安全の確保とリスクマネジメント ・事故予防、安全対策 ・感染対策
	(4)介護職の安全	1	(4) 介護職の安全	1	1		(4) ・介護職の心身の健康管理

第1-2号様式

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 3時間		時間数	うち通学	うち通信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
(1)介護保険制度		1	1		・介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ・仕組みの基礎的理解 ・制度を支える財源、組織、団体の機能と役割
(2)医療との連携とリハビリテーション		1	1		・医療との連携とリハビリテーション
(3)障がい福祉制度及びその他制度		1	1		・障がい福祉制度の理念 ・障がい福祉制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間		時間数	うち通学	うち通信	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1)介護におけるコミュニケーション		3	3		・介護にコミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ・利用者、家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況、状況に応じたコミュニケーション技術の実際
(2)介護におけるチームのコミュニケーション		3	3		・記録におけるチームのコミュニケーション ・報告 ・コミュニケーションを促す環境
6 老化と認知症の理解 9時間		時間数	うち通学	うち通信	6 老化と認知症の理解
(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常		1.5	1.5		・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響
(2)高齢者と健康		1.5	1.5		・高齢者の疾病と生活上の留意点 ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点
(3)認知症を取り巻く状況		1.5	1.5		・認知症ケアの理念
(4)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		1.5	1.5		・認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理
(5)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		1.5	1.5		・認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴 ・認知症の利用者への対応
(6)家族への支援		1.5	1.5		・家族への支援

第1-2号様式

7 障がいの理解		3時間	7 障がいの理解	時間数	うち通 学	うち通 信	7 障がいの理解
(1)障がいの基礎的理解			(1) 障がいの基礎的理解	1	1		(1) ・障がいの概念とICF ・障がい福祉の基本理念
(2)障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識			(2) 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	1		(2) ・身体障がい ・知的障がい ・精神障がい ・その他心身の機能障がい
(3)家族の心理、かかわり支援の理解			(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1	1		(3) ・家族への支援
8 ところとからだのしくみと生活支援技術		24時間	8 ところとからだのしくみと生活支援技術				8 ところとからだのしくみと生活支援技術
ア 基本知識の学習			ア 基本知識の学習	時間数	うち通 学	うち通 信	ア 基本知識の学習
(1)介護の基本的な考え方			(1) 介護の基本的な考え方	2	2		(1) 介護の基本的な考え方
(2)介護に関するところのしくみの基礎的理解			(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解	2	2		(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解
(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解			(3) 護に関するからだのしくみの基礎的理解	2	2		(3) 護に関するからだのしくみの基礎的理解
イ 生活支援技術の学習			イ 生活支援技術の学習	時間数	うち通 学	うち通 信	イ 生活支援技術の学習
(4)生活と家事			(4) 生活と家事	3	3		(4) ・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援
(5)快適な居住環境整備と介護			(5) 快適な居住環境整備と介護	3	3		(5) ・快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障がい者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点

第1-2号様式

(6)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(6) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3	(6) 移動、移乗に関する基礎知識、さまざまな移動、移乗に関する用具、利用者、介助者にとって負担の少ない移動、移乗を阻害するところとからだの要因の理解、移動と社会参加の留意点と支援
(7)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(7) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3	(7) 食事に関する基礎知識、食事環境の整備、食事に関連した用具、食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援
(8)睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(8) 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2	2	(8) 睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法
(9)死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	(9) 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	2	2	(9) 終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援
ウ 生活支援技術演習	ウ 生活支援技術演習	時間数	うち通学 うち通信	ウ 生活支援技術演習
(10)介護過程の基礎的理解	(10) 介護過程の基礎的理解	2	2	(10) 介護過程の基礎的理解
9 振り返り 2時間	9 振り返り	時間数	うち通学 うち通信	9 振り返り
(1)振り返り	(1))振り返り	1	1	(1) 振り返り
(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1	1	(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修
追加カリキュラム				
計 (59時間)	計 (59時間)			

※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。

※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。

※ 時間配分の下限は、30分単位とする。

※ 項目ごとに時間数を設定すること。

※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。(別紙でも可)

※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。